

## ニチレイチャレンジ特別泳力検定会実施報告・宮崎会場

1. 開催日 平成22年11月28日（日）
2. 会場 宮崎県総合運動公園室内プール
3. 大会名 ニチレイチャレンジ特別泳力検定会兼宮崎県ジュニア水泳競技秋季大会
4. 参加人数 233名
5. 年齢 未就学児～小学6年生
6. ゲスト 北京オリンピックメダリスト 宮下 純一 氏
7. 受検者数 432種目（延べ）
8. 合格者 1級11名 2級35名 3級172名 4級162名 5級28名 合計408名
9. 報告者 宮崎県水泳連盟 事務局長 水島 千江子

本大会は県内のスイミング協会主催で行われるジュニア水泳競技会とニチレイチャレンジ特別泳力検定会がタイアップして開催されました。開会式では、九州出身の（財）日本水泳連盟・青木剛副会長とゲスト宮下純一さんの激励の言葉があり、県内2名の選手による元気な選手宣誓をスタートに競技が開始されました。今回の大会は泳力検定会を兼ねていたこともあり、いつもの大会以上の活気が感じられました。

午前の競技終了後、宮下さんによる水泳教室が、60名の選手と10名のサブの先生方にお手伝いいただき開催されました。基本の浮き身やペットボトルを使った背泳ぎのドリルなど子供達も目をキラキラさせながら水泳教室を受講していました。宮下さんは子供達と一緒にバタフライに挑戦したり、模範泳法では会場の子供達の歓声はもとより、お母さん方の黄色い応援の声が会場に響き渡りました。

閉会式では、宮崎の地に初めてお越しいただいた（財）日本水泳連盟・鷺見生涯スポーツ委員より検定会の高い評価をいただきました。今年の宮崎県は、口蹄疫で苦しみましたが「がんばろう宮崎」を合言葉に県民一丸となり復興への道を歩み始めました。その意味でも水泳を通じて子供達の明るい笑顔に希望を見出せた事は、心に残る検定会となりました。

最後になりましたが、この検定会を開催するにあたり大変ご尽力頂きました関係者の皆様、応援して頂きました保護者の皆様、そして遠路お越しいただいた宮下純一さんと日本水泳連盟の皆様、ご協賛頂きました株式会社ニチレイ様に、心よりお礼申し上げご報告とさせていただきます。

